

矢掛町立山田小学校

キーワード

基礎的な知識・技能の習得

標 題

学習内容の確実な定着を図る指導方法の工夫

①学校の概要（平成25年7月19日現在）

・児童生徒数79名 ・学級数8学級 ・教職員数14名

②取組を始めた経緯

児童一人一人学力状況には差がある。そこで、授業外の学習支援機能を充実させることによって、普段の授業では時間を取りにくい個に応じた補充学習や発展学習ができるのではないかと。

③取組の実施体制

矢掛町学校支援推進本部から学校支援地域コーディネーターを配置し、地域ボランティアの方々による授業外の学習支援活動の充実を図る。

④学力向上に向けた具体的な取組

○火曜日、金曜日の朝の時間、月1回木曜日の6校時に地域のボランティアに来校してもらっている。そして、普段の授業ではなかなかできない個に応じた補充のプリントに取り組ませている。（漢字・計算・文章読解・文法など）

○分からない児童には、教師がそばに行きやり方を教え、できた児童の答え合わせは地域のボランティアの方におこなってもらえるので、個に応じたプリント学習がスムーズにできている。

○プリントができるとすぐに丸つけがしてもらえるので、児童も充実感を味わっている。また、わからない所は教師が教えてまわるので、苦手克服の時間となっている。

⑤取組の成果と課題

○成果

・ 苦手分野にくり返し取り組めるので、基礎的な学習内容の定着が図れている。前学年にさかのぼって復習もできており、貴重な学力保障の時間となっている。

○課題

・ 朝の学習の時間は補充学習中心で、発展問題への取り組みはなかなかできていない。

⑥取組の継続・発展の要因

児童は地域の方から優しい励ましの言葉やアドバイスをもらうことをとても楽しみにしている。自分のペースに合わせて学習が進められることも意欲的に取り組んでいる要因であろう。また、ボランティアの方々から「この学習支援活動に生き甲斐を感じている。」というありがたい言葉をいただいている。地域の方々に支えられてこの取り組みが継続できている。

⑦管理職・中核教員等のアクション

地域コーディネーターと連携をとり、学校とボランティアの方々とのスケジュール調整を早め早めに行っている。ボランティアの方々に気持ちよく来校していただけるようにしている。また、全校集会の「感謝する会」を年間の教育計画の中に組み入れている。ボランティアの方を学校に招待し、年に1回ではあるが、日頃のボランティア活動に対する感謝の気持ちを全校児童が伝えられるようにしている。

⑧資料・写真等

